

事業所における自己評価表結果（公表）

公表：令和6年2月13日

事業所名 サポートセンターラブラドル

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|-----------------------|-----------------------|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | <input type="radio"/> | | 感染症対策も考慮し、以前より広い活動スペースを確保しています。 | 体調面を考慮した上で、活動内容の充実を図ります。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | <input type="radio"/> | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | <input type="radio"/> | | 出入りにスロープを設置しており、施設内のバリアフリーになっています。障害特性に合わせた備品を個別に準備しています。 | 今後も定期的に点検を行い、改善に努めます。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | <input type="radio"/> | | 感染症対策としても換気の実施や消毒の実施をしています。 | 車椅子の方と歩行ができる方、どちらも特性に合わせた活動ができるよう、今後も環境整備に努めます。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | <input type="radio"/> | | 定期的に職員会議や面談を実施し、業務改善に取り組んでいます。 | 継続的に実施します。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | <input type="radio"/> | | | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | <input type="radio"/> | | 事業所内掲示とホームページに載せています。 | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | <input type="radio"/> | | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | <input type="radio"/> | | 職場内研修の実施、外部研修への参加をしています。職員への伝達研修も実施しています。 | 継続的に実施します。支援の質の向上を目標に、幅広い内容の研修に取り組みます。 |
| 適切な | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | <input type="radio"/> | | 成長に伴いニーズや課題も変化するため、必要時に検討会議を実施し、職員間で情報共有を行い、計画を作成しています。 | 個々の成長でニーズが変化することを踏まえ、日々の様子や状況について、職員間で情報共有できるよう努めます。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | <input type="radio"/> | | 標準化されたアセスメントツールを使用しています。 | 定期的に職員間で再確認を行い、より良い支援が提供できるように努めます。 |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | <input type="radio"/> | | 保護者からの要望やニーズを適切にくみ取れるよう心がけています。 | 変化するニーズや状況を見逃さないよう、保護者や職員間での情報共有も行います。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | <input type="radio"/> | | 児童発達支援計画に沿った支援を行っています。 | 感染対策のため、個別での活動中心となったが、その中でも適した支援ができるよう工夫していきます。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | <input type="radio"/> | | 定期的に職員会議を開催し、活動内容について検討しています。 | 職員会議の回数を増やし、職員間の情報共有の機会も増やしていきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------------------|----|---|----|-----|---|---|
| 支援の提供 | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 休日や長期休暇中は、平日に行えない活動を取り入れています。(おやつ作り、スムーズン、カラオケ等) | 感染対策や体調面を優先させるため、計画通りに活動が行えない時があります。その都度個別活動にするなど対応していきます。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している | ○ | | 利用者それぞれの特性を把握し、計画を作成しています。 | 成長に合わせて状況が変わることも踏まえ、計画を行います。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 毎日日課担当表を作成し、支援に当たっています。その他、職員連絡ノート等を活用し、情報共有を行っています。 | 伝達もれがないよう、職員間でコミュニケーションをとりながら業務にあたります。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 記録を正確にとり、必要な情報については連絡箋に記入し情報共有を行っています。 | 全体での打ち合わせは難しく、翌日以降の伝達になってしまうこともあるが、連絡箋やミーティングを通して情報共有に努めます。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 毎日記録をとり、必要に応じて担当者会議を開催し、支援の内容を検討しています。 | 利用者様個別の記録用紙を準備し、必要な情報を記入しています。今後も継続して実施します。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 定期的にモニタリングを実施し、計画の確認や見直しを行っています。 | 成長に伴い変化するニーズや状況を見逃さないよう、職員間での情報共有も行います。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 主に児童発達支援管理責任者が参画しています。また、必要に応じて、看護職員も参画しています。 | 継続して実施します。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 各関係機関と連携し、情報共有を行っています。 | 細かいことでも、利用者様の変化等があった時は関係機関（主に相談支援事業所）に報告を行っています。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 各関係機関と連携し、情報共有を行っています。 | 療育連絡会を通じて情報共有をしたり、相談支援事業所と連絡をとり、情報共有しています。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | 主治医からの指示書や、緊急時の対応について連携をとっています。 | 相談支援事業所を通して、通院に同行させてもらい、主治医からアドバイス等をもらっています。今後も継続していきます。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 各関係機関と連携し、情報共有を行っています。 | 成長に伴い状況も変化することから、日ごろからコミュニケーションをとり、利用者様の理解を深めるよう努めます。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 担当者会議や、学校送迎時の申し送り等で情報を共有できるよう努めています。 | 日頃から相談しやすい関係づくりを心掛け、今後も継続して実施します。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 他の事業所の施設見学の実施、研修等へ参加しています。 | 今後も継続して行います。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 重症心身障害児の方が利用しており、体調を優先させていることから、交流は行っていませんが、今後検討していきます。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 自立支援協議会の子ども部会に参加しています。 | 会議や研修等に参加した後に、事業所内で伝達を行っています。継続して実施します。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 連絡ノートを活用し、保護者との情報共有を行っています。また、必要に応じて面談を実施しています。 | メールでのやり取りも実施しています。今後も継続して実施します。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | 個別性が高いため、保護者の方から対応について教えていただいています。保護者の方から要望があった時は、事業所内で支援内容を検討し、家族支援にも取り組んでいます。 | 継続して実施します。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | サービス利用時に説明を行っています。また、連絡ノートを活用したり、面談を実施し、支援内容について説明を行っています。 | 継続して実施します。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。 | 継続して実施します。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | | ○ | 保護者の方から相談があった時は、事業所内で検討し、必要とされる情報の提供を行っています。 | 保護者の方が相談しやすい関係づくりを心掛け、適切な助言ができるよう努めます。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 保護者の方の負担も考え、現在保護者会、父母の会はありません。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 相談や申し入れがあった時は、事業所内で検討を行い、対応しています。 | 今後もできる限り保護者の要望に応えられるよう、検討していきます。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 定期的な会報はありませんが、長期休み期間や、行事があった際はお便りや写真等で活動内容を発信しています。 | 今後も保護者の方に活動の様子がわかるようにお伝えしていきます。 |
| | 38 | 個人情報の取り扱いに十分注意している | ○ | | | 継続して注意していきます。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 特性に合わせた意思の疎通を行うよう心掛けています。 | 継続して実施します。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 地域の方が参加できる行事を開催していないため、地域の方と交流をする機会が少ないのが現状です。感染症予防の面でも交流は行っておりません。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 各マニュアルがあり、職場内研修を実施しています。感染症対策については、感染症流行期に対応や状況についてお知らせをしています。 | 継続して実施します。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 定期的に、避難訓練、心肺蘇生訓練、消火訓練、通報訓練等を実施しています。 | 継続して実施するとともに、保護者へお知らせするようにしていきます。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | アセスメント時に詳細を確認しています。また、変更等があるときは、保護者と連絡をとり、情報共有しています。 | 継続して実施します。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 保護者の方から、禁止されている食べ物や発作時の対応について聞き取りを実施し、職員間で情報共有を行っています。 | 定期的に確認を行い、適切な対応ができるよう努めていきます。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業者内で共有している | ○ | | リスクマネジメント研修を実施しています。過去の事例や、事故や危険が予測される事について、職員間で情報共有を行っています。 | ヒヤリハット事例は職員がいつでも閲覧できるようにまとめています。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待防止に関する外部研修に参加している。また、事業者内で伝達研修も行っている。 | 継続して実施します。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 安全を第一に考え、危険回避のため身体拘束が必要な場合は、保護者に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しています。 | 継続して実施します。 (現在該当者なし) |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。